

主催：日本高齢期運動連絡会・東京都老後保障推進協会 高齢者の要求実現めざす 年末座り込み行動



最終(4)号 2017年12月15日(金):共同デスク

カンパ・陣中見舞ありがとうございました。

3日間の参加者は101人

今年の座り込み行動は、3日間で述べ101人の参加がありました。最終日の15日は、今シーズン一番の冷え込みでしたが、3日間天候にも恵まれて、たくさんのビラ配布や対話ができました。また、共感の訴えや歌声、差し入れなどたくさんの激励をいただきました。9人の国会議員の方にもご参加いただきました。

今後とも幅広い運動と連帯しながら高齢者の要求の実現をめざしましょう。

たくさんの方が応援・激励に！

最終日の15日午前も多くの激励がありました。全日本建設交運一般労働組合の神田豊和副委員長、全国生活と健康を守る会連合会の西野武事務局長、一般社団法人日本高齢期運動サポートセンターの鐘ヶ江正志専務らが、陣中見舞いや座り込みの激励にみえました。



15日の座り込みの様子

1月に厚労省交渉を行います！

13日に提出した要望書について通常国会が開かれる前の1月中旬に実施する予定で準備をしています。

要望書の内容に、この座り込み行動で寄せられた声や実態を加えて直接厚生労働省に伝えます。

要望書の提出後に示された診療報酬と介護報酬の同時改定方針や生活保護の生活扶助費の減額や障害者の食費提供体制加算廃止の問題などについて高齢者の要望を伝えたいと思います。

日程と場所が決まり次第ご案内しますので、多数のみなさまのご参加をお願いします。



参加者を激励する倉林明子参議院議員

座り込みの集結式を開催！

15日午前11時半から終結式を行いました。

集結式では、主催者を代表して藤谷恵三日本高齢期運動連絡会事務局長が、まとめを行いました。

藤谷事務局長は、

- ① 高齢者の暮らしが年々厳しくなっており、要求は切実さを増している。
- ② 安倍内閣の年金、医療・介護、生保、障害者などの施策は、「高齢者いじめ」としか言えない酷いものになっており、怒りが広がっている。
- ③ 高齢期運動の輪をさらに広げ、若い世代、現役世代の問題として市民の共闘課題にしていこう。

と訴えました。



ご協力ありがとうございました！

今回も、座り込みの実施にあたっては、葛飾社保協議会のみなさんに大変お世話になりました。会場の設営では葛飾医療生協の吉野さん、葛飾土建の金丸さんが材料の準備から組み立て、撤収まで手弁当で協力してくださいました。その他、たくさんの人たちのご協力をいただきました。ありがとうございました。

3日間のべて 参加者 101名!
署名 63筆!
カンパ 86,032円!